

ヨーロッパの概況(II)

イギリスの横顔

イギリス国土は、日本の六十六パーセントで、人口も五、五〇〇万人余であります。国土の大半は農業と牧畜業に利用されています。地形も四方が海にかこまれ、日本に非常によく似ているイギリスの様子を追ってみましょう。

＝町長視察記＝

伝統と慣例を尊重する例として政治の基本も伝統と慣例、健全なる常識、それに若干の基本的法律(大憲章・王位継承法・人権宣言議会法等)に依存されている。バッキンガム宮殿の衛兵交代は

外国人の観光の一つでもあるバッキンガム宮殿における衛兵交代は、華麗な儀式が、二時間もおよび訪英する各国人の観光の一つにもなっている。この行事は国の伝統であるゆえ、いささかも不思議を感じていないようであった。

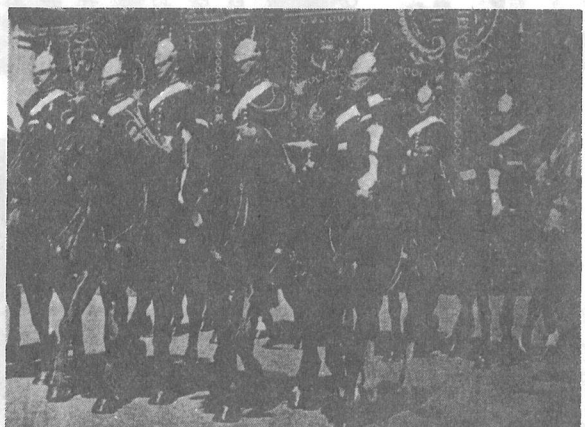
旧建物を尊重し、新建築を敬遠する傾向がある

旧建物を尊重し、新建築を敬遠する傾向がある。建物はほとんど石造りであるため、個人の家にしても、年寄りの時代に土台や家の形を造り、次の代が内装工事を行ない三代目が総仕上げをする経過をたどっている。地震もな

をかぶり、ステッキの姿や、幌馬車を利用されている変わったふん囲気が残っている。

労働は、生活のための労働ではなく、エンジョイ労働

労働は、生活のための労働ではなく、エンジョイ生活のための労働を望んでいるが、最少限度の労働以外は、好まないと言われていた。見方によつては生活が上手でもあるようだが、理屈が多く、なかなか腰を上げない傾向が見受けられた。土、日曜日はゆっくり休んで、出かせぎの外国人がこれに代わって下働きをしているとのことであった。また俗に言う



(バッキンガム宮殿の衛兵交代)

地形・産業も日本と類似し、今でもかつての大英帝国を尊重イギリス本国の国土は、日本の六十六パーセントで、人口も五、五〇〇万人余であり、日本と同じように周囲が海で、国土の八十パーセントは農業、牧畜業に利用されている。かつては、世界の七つの海を支配して大英帝国をほこり今でもこの伝統と旧慣行を尊重している。

大英帝国時代、世界各国の古代出土品などが大英博物館に温存

大英帝国時代、世界の文化を持ち運んだと言われているロンドンにある大英博物館は、世界最大なものでありエジプト、ギリシャ、

ローマ、中国、日本におよぶまでの古代出土品、美術品、民族資料などを集めている。だから国内で

温存する宝物だけでも国民は、百年間あそんで生活できると言われていた。

政治の基本も伝統と慣例、健全なる常識、基本的法律に依存

政治の基本も伝統と慣例、健全なる常識、基本的法律に依存



(ロンドン市内の中心街)

国民は今もかつての貴族生活を尊重国民は、長い貴族の支配による貧富の差にも甘んじていたので伝統・慣例(慣習)を尊重しているゆえんだと思われが、今もなおシルクハット

針によつて教育方法も違うほとんどが宗教学校であるため、校長の方針によつて教育方法が異なっており、進路は教師の意見に従い、大学の進学率は十パーセント程度であると言われていた。頭

がよく、金のあるものでなければ大学に行けないので、学生運動もほとんどないことである。物価は十六%値上げされ、世界的な石油ショックの影響物価は、十月二十日の新聞では十六パーセント値上げされ、石油ショックの世界的な影響を受けていた。内外事情はきわめて複雑で、北アイルランド問題は一大転機東西対立からいささか対岸視する立場にあり、伝統と慣例によつてノンビリしているようでもあったが、内外事情はきわめて複雑なものがあり、特に北アイルランド問題などをかかえ、一大転機をむかえているようであった。